

# 地方 紀民 行鉄

## 上田電鉄株式会社



山々に守られて

ひろびろと広がる塩田平。

まるで大きな箱庭のような

景色の中には、

五感を満たす楽しさがいっぱい。

**沿** 線のお勧め散策ポイントは、「舞田駅から八木沢駅までのお手軽な一駅散歩です。天気の良い日は、塩田平を思う存分味わえます」（上田電鉄）。なるほど、詳しい人の「お勧め」には従っておくものだ。

### 塩田平は大きな箱庭

上田駅から12駅、舞田駅は塩田平の端近くにポンと置かれた小さな駅。周囲の景色の構成要素は、山と家、田畑と駅と線路に私。たったこれだけ、実にシンプル。

全体の9割近くを田畑が占める景色は開放感抜群だけれど、塩田平を囲む独鈷山や夫神岳といった山々の存在感が大きいため、包まれたような安心感もある。広々としているのに囲まれている不思議な空間。まるで巨人の作る「箱庭」か「ジオラマ」の中に入り込んだような、何とも言えない感覚になる。

「お勧め」の理由を全身で感じながら、一駅散策。歩くのは、舞田駅から八木沢駅までまっすぐ伸びた線路に並走する農道約800m。視界を遮るものもなし、舞田駅から八木沢駅が見えるかなと思いきや、視力は良い方向なのに、それらしい建物は見当たらない。

少し歩いて舞田駅の方を振り返ると、舞田駅の姿も消えている。そんなはずはない。線路伝いに見直すと、あっさり発見。なるほど、一旦、目を離してしまつと、小さな駅舎は塩田平の景色の中に溶け込んでしまつようだ。ならばと、再び八木沢駅側を、今度は線路を追ってしっかり見ていくと、予想よりずっと近くに、鮮やかなパステルブルーの八

木沢駅の駅舎を発見。

駅舎の傍らに立つ桜は散っているけれど、その足元には色とりどりの花が植えられ、手を掛けて世話する人の気配が漂う。可愛がられたベツトは穏やかな顔になるといふけれど、大切にされれば駅もそんな雰囲気になるものらしい。箱庭のような景色の中、八木沢駅は安心して切つて眠る猫のようなのかな風情。

### 駅と電車と桜を共に

さて、舞田駅から八木沢駅は、ゆっくり歩いても15分もかからない。八木沢駅に到着したところで、まだまだ歩き足りない。次の電車が来るまでには時間もあまるし、終着駅の別所温泉駅まで、追加でもう一駅散歩。

歩き出して程なく、塩田平は終わりを告げたのか、道はカーブする緩やかな坂道に。開けていた視界は木々に遮られ、道沿いにはタンポポやつくし、菜の花など野の花が咲き、春爛漫の山里の趣。向かう別所温泉は「真田幸村の隠し湯」とも呼ばれるけれど、辺り一面を見渡せる塩田平と比べると、確かにこれは「隠されて」いる。

坂道を登り続けて見えてきた別所温泉駅は、見事な桜吹雪の真つ口中。塩田平より桜の開花が遅いのか、別所温泉界隈はどこもかしこも桜満開。

桜と駅舎の写真を撮っていると、大河ドラマ「真田丸」のラッピング電車がタイミングよく到着。主演俳優や真田六文銭などが描かれた、赤をベースとした車体はなかなかのイ

## 上田電鉄 別所線

【うえだでんてつべっしょせん】

上田駅から別所温泉駅まで、15駅約11.6kmを17分で結ぶ。沿線の大半が信州の鎌倉と呼ばれる塩田平を走り、一帯には北条氏由来の寺社が点在している。



塩田平を走る電車。住宅は山裾に集中。



舞田駅を出る「まるまどりーむ号」。



別所温泉駅と桜と『真田丸』ラッピング電車。



別所温泉駅には観光駅長さんが勤務。



パステルブルーの八木沢駅。花がきれいに整えられている。八木沢駅名標には「鉄道むすめ 八木沢まい」のイラストが。



別所温泉駅から温泉街の方に伸びる坂道を登ること数分。細い参道の先に見えてくる「ある場所」とは、北向観音。

以前、長野の善光寺をお参りした際にあれこれ調べ、南向きに建てられた善光寺と向き合うように、北を向いて立てられた北向観音というお堂が別所温泉にあることは知っていた。どちらか一方だけの参拝が「片参り」と呼ばれることも調べていたので、今回の訪問は絶対のチャンス。しかも、来世のご利益を願うものとされる善光寺に対して、北向観音は現世のご利益を願うものだという。来世の幸せも大切だけれど、煩惱を抱える身としては、今現在、現世における幸せも願いたい。いそいそと向かった本堂は、平田ということもあって、参拝客が少ない。善光寺では他の参拝客と譲り合うように、慌ただしくお参りをしたけれど、今度は誰に気兼ねすること

なく、ゆっくり手を合わせて、幸せ祈願。

「ある場所」とは、北向観音。

以前、長野の善光寺をお参りした際にあれこれ調べ、南向きに建てられた善光寺と向き合うように、北を向いて立てられた北向観音というお堂が別所温泉にあることは知っていた。どちらか一方だけの参拝が「片参り」と呼ばれることも調べていたので、今回の訪問は絶対のチャンス。しかも、来世のご利益を願うものとされる善光寺に対して、北向観音は現世のご利益を願うものだという。来世の幸せも大切だけれど、煩惱を抱える身としては、今現在、現世における幸せも願いたい。いそいそと向かった本堂は、平田ということもあって、参拝客が少ない。善光寺では他の参拝客と譲り合うように、慌ただしくお参りをしたけれど、今度は誰に気兼ねすること

**現世利益をゆっくり祈願**

**現世利益は景色とお蕎麦**

スッキリした気分が境内を後にしたところで、気付けばすでに昼下がりに、お腹がすいた。上田の町にはお蕎麦屋さんが多く、「信州上田そばマップ」なるものも作られている。となれば、やっぱりお昼はお蕎麦でしょう。

マップによればわりと近くにあるらしいお蕎麦屋さんを目星をつけて、道をウロウロしていると、年配のご夫婦が畑と民家しか見えない小道にすっと入っていく。「これはもしや」とついて行けば、大正解。民家が並ぶ中に一軒のお蕎麦屋さん。空腹に急かされ、入店するなり、メニューも見ずに「ざるそばー」を注文。程なく登場した色白でかなり細めのお蕎麦を、さっそく一口。

「細かいけどコシが強くて、おいしいお蕎麦ですよ」。話しかけられて目を上げると、隣の席に座っていた先ほどのご夫妻が、お箸を片手にこちらを見て笑っている。口いっばいにすすりこんだお蕎麦に、ろくなお返事ができず、ひたすら頷いて同意を示す。のどごしの良いお蕎麦は、するするとあつという間にお腹に消える。

お蕎麦はおいしかった。「片参り」も解消できた。塩田平の景色は何とも不思議で気持ち良かった。満腹して、スッキリして、大満足。

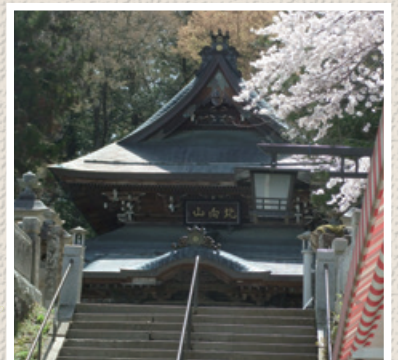
ああ、これが北向観音の現世利益だ。



独鈷山の裾野から別所温泉側を見る。



お蕎麦は細切り。きりっとした辛めのつゆもおいしい。



現世利益の北向観音。